

特定非営利活動法人 ねっこぼっこのいえ 趣旨書

1 趣旨

現代の日本における家族の姿、また、人間関係のありようは、高度経済成長期以来急速に変容してきました。価値観の多様化や、経済・社会の様々な諸条件の変化に伴って、核家族化が大きく進み、個々人のつながりが分断され、支えあって生きていく関係が希薄になってしまっているのです。

今や、子どもからおとなまで、あらゆる世代がなんらかの孤独感を抱え、寄り添う暇のない寂しさを感じながら生活する環境が常態化している感さえあります。困った状況にあっても、どのような手立てがあり、どこに、誰に助けを求めたらよいのか迷う人たちが増えてきているのが実状です。

青年層を含む子どもたちは、安心して過ごせる居場所が見いだせず、多くの目の中で多面的に見守られ成長していくという子ども本来の成長の機会を奪われてしまっている子も多くいます。様々な事情により、子育てに困難さを抱える状況に追い込まれている家庭も少なくありません。

そこで私たちは、地域の中に、様々な世代、多様な人々が気軽に集える場を生み出すことで、顔と顔を合わせて築き上げる関係性の再構築が可能な環境を取り戻そうと考え、この十年間試行錯誤しながら活動し続けてきました。

ここに集う人々の中で、生きづらさを抱えている個人や家庭が、困難さを解消するのに役立つような情報を集め、少しでも活用してもらえ、また、様々なニーズに応えた学びの場を、参加者と共に創り出していくことを心がけ、何よりも、ここに集う子どももおとなも、否定されることなく、丸ごと受け止めあう経験を重ねられるよう、努めてきました。

私たちは、このような積み重ねの中で、人は誰でも弱さをゆるしゆるされる体験を通し、自分の弱さと向き合いながらお互いの存在を尊敬し、違いを認め合う中で、人間同士の信頼関係が築き上げられていくのだということに気付かされてきました。

私たちは、NPO 法人という組織づくりへと踏み出すことで、より個別多様なニーズに責任をもって細やかに取り組み、様々な関係機関とも助け合いながら、誰もが幸せを感じることでのお互いさまの関係に根ざした場を、参加している人々と共に創りだします。

そして私たちはこのような場づくりを通し、人々が、生きる力を回復していくこと、自分自身や人々に対しての信頼を取り戻し、人の中で生きていくことに希望がもてるようになることを願い、更にはひとりひとりの命が肯定される平和な社会を創り出すことに寄与すべく、ここに NPO 法人ねっこぼっこのいえを創出するものであります。

2 申請に至るまでの経過

2007年6月4日 任意団体「ねっこぼっこのいえ」設立

2017年10月3日 NPO 法人「ねっこぼっこのいえ」設立発起人会をねっこぼっこのいえにて開催し同日、設立総会を開催し設立の運びとなりました。

2017年10月3日

特定非営利活動法人 ねっこぼっこのいえ

設立代表者 札幌市豊平区水車町5丁目1番22-703号

小林 真弓 印